



八高支スクールライフ

青森県立八戸高等支援学校
発行：令和6年9月25日
第6号

パリパラリンピック

先日、産業科3年生の授業でパリパラリンピックに出場した田中愛美選手を取り上げていました。田中選手のことを調べて、すごいと思ったことは？に生徒は「車いす生活になっても、それを受け入れて努力し、車いすテニスの女子ダブルスで金メダルをとった」「車いすの操作だけで難しいのに1位になるなんてすごい」「中学校では部員80人のキャプテンだった」などを挙げていました。田中選手は高校1年生の冬に自宅での転落事故によって脊髄を損傷し、車いす生活になりました。中学校から続けてきた硬式テニス部では「どんな形でもいいから部活に参加させて欲しい」と一旦は裏方で支えることも考えましたが、顧問から「どうせ戻るのならプレーヤーとして戻ってきなさい、環境は作るから、愛美はテニスができるようになれ」と伝えられ、2年生から車いすテニスを始めました。その言葉があったからこそ、これまでテニス続けることができた、とあるサイトで紹介されていました。本人の頑張りでだけでは限界があります。それを支える周りの力、タイミング、人・・・いろんな要素がうまくかみ合っ金メダルにつながったのだと思います。そんな田中選手に触れて生徒は「私も諦めない心、めげない姿をまねしたい」「折れない心、前向きさを生かしたい」「たとえ自分が事故にあっても、続けて働きたいという思いを抱いていきたい」「1回は諦めることがあっても前向きに考え直し、進んでいきたい」など大いに刺激を受けていました。
(生徒指導主事 田中宏)

キャリアミーティング

キャリアの時間に「20分間集中トレーニング」に取り組むことがあります。目の前の課題にとにかく集中して取り組むという活動です。最初の設定は、【折り鶴】でした。折り鶴の経験がない人は、折り方を調べるところから始まります。動画を見ながら折る人、図の解説を見ながら折る人、人によってやり方は様々ですが、継続して行うことで折れるようになったり、折り方が丁寧になったり個々に成長が見られました。「継続は力なり」を感じます。
「20分間集中」の始まりは教師側からの課題設定でした。今後は、生徒自ら課題を設定し取り組む方針です。弱い部分を課題として設定し克服する時間にしても良し、自分の得意なことをさらに伸ばす時間にしても良し、どちらにせよ今の自分に向き合い、将来の生活に必要なスキルを身に付ける時間になればと思います。
(久保)

調理実習しました(9月12日)

夏休み明けは産業現場等における実習で忙しい3年生ですが、居残りメンバーで青森県産のものを使った調理実習をしました。
かぶと厚切りベーコンの洋風煮、ホタテフライ、肉野菜炒め、りんごのコンポートの作り方をタブレット端末で調べて上手に作る事ができました。みんなで少しずつ食べて、しっかり給食も食べました。とても美味しくできたので実習組が戻ってきたら、またやりたいです♪(小川)



校外学習に行ってきました(9月12日)

晴天に恵まれた9月12日、2年7組と8組合同で校外学習に行ってきました。
修学旅行の事前学習を兼ね、鮫駅で電車に乗り、八戸駅に行きました。東北新幹線のホームに入場し、乗車のイメージトレーニング。その後はワンコインバスで八食センターに出かけ、ハンバーグ定食のランチに舌鼓を打ちました。公共施設の利用の仕方はしっかり身に付いたかな？さあ、11月の修学旅行が楽しみです！(櫻井)



青森県障がい者スポーツ大会

(8月25日・9月1日)

青森県障がい者スポーツ大会では、8月25日(日)に陸上競技とフライングディスク競技、9月1日(日)に卓球競技が、新青森県総合運動公園を会場に開催されました。
本校からは陸上競技に5名、フライングディスク競技に2名、卓球競技に3名の選手が出場し、日ごろの練習の成果を発揮して全員がメダルを獲得することができました。
(高山)

